

北谷町下水道事業経営戦略 (令和4年度～令和13年度)

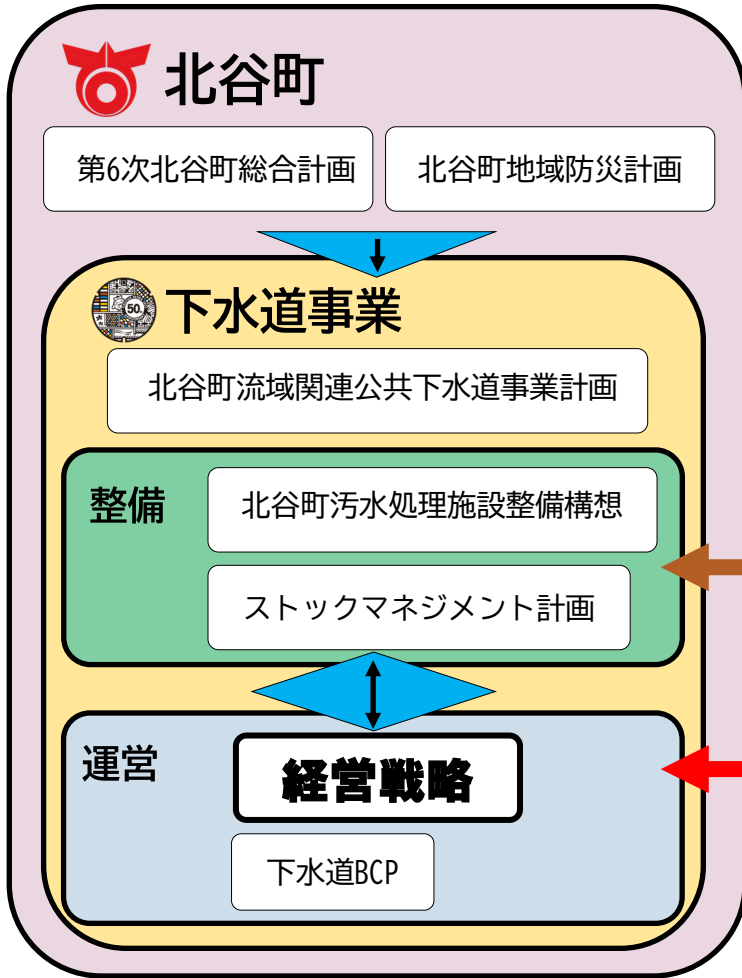
令和4年8月改訂版ガイド



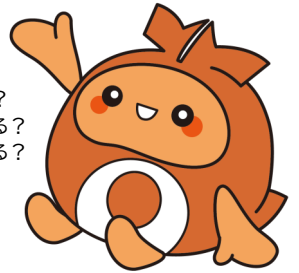
～経営戦略って？～

・経営戦略の位置づけ

みんなに下水道サービスを提供し続けるための計画だよたん



排水量はどう推移するかな？
施設の更新はどう進めようかな？
維持管理にどれだけお金がかかる？
必要なお金は使用料でまかなえる？



国土交通省

「下水道」を管轄する省庁



総務省

「公営企業」を
管轄する省庁

公営企業が継続して運営できるよう、
「経営戦略」を策定するように指導

下水道サービスを将来にわたって安定的に継続するため、事業環境の変化を踏まえながら、必要な整備や維持管理などを「どう行う必要があるのか」、それをまかなう「使用料収入の見通しがどうなっているのか」を示す、今後の経営（運営）の指針となる計画です。

・今回の計画更新について

主な更新ポイントは次のとおりです。

- ①令和元年7月の料金改定を反映しました。
- ②ストックマネジメント計画が策定されたので、更新計画に反映しました。
- ③新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しました。
- ④更新にあたって、各種情報を更新しました。



前回計画策定時から状況に変化があったので、経営の継続性が維持できているかチェックしました。

～見直した結果は？～

・更新ポイントの評価について

①令和元年7月の料金改定

UP!
Positive! 収益アップ!

→経営改善に大きく寄与しました！（P10、P21など）

平成29年度・平成30年度の赤字決算から一転して、令和元年度から黒字決算となり、令和2年度決算において累積赤字を解消しました。

②ストックマネジメント計画

DOWN
Positive! コストダウン!

→計画的・効率的な施設の更新を実施することができます！（P20、P22、P28、P38など）

効率的な工法や健全度合いを確認した上での耐用年数を超過しての施設利用を検討した結果、計画期間内での更新費用が前回見込時より減少しました。

③新型コロナウイルス感染症の影響

DOWN
Negative... 収益ダウン...

→経営に重大な影響を与えています。（P9-10、P19-21、P36など）

新型コロナウイルス感染症の影響により、大型宿泊施設や米軍施設といった大口需要家の排水量が大幅に減少したため、これに連動して使用料収入も大きく減少しています。①の料金改定の効果で令和2年度もなんとか黒字決算となりましたが、予定していた収入より少ない状況です。今後の動向については不透明な状況であり、重大な関心をもって注視する必要があります。

④各種情報の更新（説明省略）

・投資財政計画（収支計画）について

これらの更新ポイントを踏まえ、投資財政計画（収支計画）を再算定したところ、以下のような結果となりました。（考え方など、詳細はP28-39を参照してください。）

・年平均収支差引（資産維持費含む） ※資産維持費算定額=△23,542千円

総収入 723,649千円 — 総支出 697,414千円 = **収支差引 26,235千円**

・年平均収支差引（資産維持費含まない）

総収入 723,649千円 — 総支出 720,956千円 = **収支差引 2,693千円**

ギリギリのプラスたん…危ないたん…



資産維持費を含む場合、含まない場合、どちらのケースでも収支均衡がとれていることが確認できました。しかしながら、いずれの収支差引額も、多少の収入や費用の「ブレ」によってマイナスとなりえる数字であり、安定的な経営をするにあたって十分な額とは言えません。期間内で企業債残高も増加する見込みであり、**余裕の全くないギリギリの綱渡りな経営状況**といえます。

新型コロナウイルス感染症の影響で見通しの立てづらい状況ですが、使用者の皆様にご迷惑を安定的にお届けできるよう、引き続きしっかりと経営状況を把握し、対応していきます。